

## 普及活動情勢報告（令和6年11月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

### 天敵を利用した I P M 技術推進に向けて ～春野ナス部会現地検討会～



現地検討会の様子

11月8日、J A高知県春野ナス部会が現地検討会を開催し、生産者5名が参加しました。普及所は今年度実証中の天敵利用技術の向上に向けた試験について途中経過を報告しました。

参加者からは、「自分のほ場よりもタバココナジラミが抑えられている」「天敵を利用したいが、ハウス周辺の害虫密度が高くて導入しにくい」といった声がありました。また、コナジラミ類に効果のある農薬についても活発的な意見交換が行われました。

今後も普及所はJ Aと連携し、I P M実践に向けた技術の習得を支援します。

### 加工品販売額増を目指して ～「なるクラブ」チーム会～



課題の聞き取りを行う  
普及指導員

11月11日、J A高知市女性部の加工部「なるクラブ」メンバー7名が年間目標達成のためのチーム会を行い、今後の活動について話し合いました。

普及所は事前にPOSデータを分析し、物価高に対応した各品目の値上げが売上にどう影響したのかを報告しました。参加者からは、「値上げにより売れ残りが増えた様子はない」「値上げよりも直販所全体の集客力低下の方が影響が大きい」などの意見が出ました。

今後の活動として、クラブの継続的な活動に向けて、財務状況を専門家に確認してもらうことが決まり、普及所も支援していきます。

### 信頼される産地づくりへ ～J A高知県春野集出荷場G A P研修会～



研修会の様子

11月18日、J A高知県春野集出荷場において、集出荷場作業員を対象としたG A P研修会を開催し、作業員73名が参加しました。

普及所からG A Pの取組の基本的な考え方から、現在集出荷場で行っている取組内容や、今後も継続してP D C Aを回すことが信頼される産地として集出荷場の役割を果たすことができることを説明しました。

参加者は熱心に耳を傾け、会終了後には早速J A担当者と改善点を話し合う場面が見受けられました。

今後も普及所はJ Aと連携し、信頼される産地づくりに向けて、集出荷場や生産現場でのG A Pの取組を支援します。

農福連携の可能性を検討 ～ 土佐山ユズ搾汁施設での作業内容確認 ～



作業確認後の打合せ

11月21日、JA高知市土佐山ユズ搾汁施設において、JA高知市無料職業紹介所担当者と農福連携促進コーディネーター、普及所が参加し、ユズ搾汁施設での作業内容を確認しました。

搾汁施設では、労働力確保が課題となっており、今後農福連携の可能性を検討するため、農福連携促進コーディネーターにも協力を依頼しました。

搾汁施設の担当者から説明を受けながら一連の作業を見学し、就労継続支援事業所等への作業委託の可能性を確認しました。

その結果、出荷用段ボールの箱折り作業がひとつ委託可能ではないかということになり、今後、次年度の委託に向けて検討していくことになりました。

普及所は、今後も関係機関と連携して農福連携の推進に向けて支援していきます。